

以前、“梱包の達人”として「コガネグモ」を紹介しました。

<http://www.pref.osaka.jp/attach/15501/00099022/120605konnpou.pdf>

その「コガネグモ」も夏の終わりとともに姿を消してしまいましたが、それと見事にバトンタッチするかの如く、晩夏から大きな網を張り出すのが「**ショロウグモ**」です。

網に獲物がかかると「コガネグモ」と同様、糸でぐるぐる巻きにして動けなくしてからじっくりと体液を吸う…、もう“絶対彼らの獲物だけにはなりたくない”というような地獄の死刑執行が待っているのです…

そして名前も「女郎（遊女）蜘蛛」…、鮮やかな黄色に黒や赤い色が混じる**ド派手**な装いからの命名なのでしょう…

一方で、「女郎」ではなく「上臈（高級女官）」が命名の根拠だとする意見もあるようですが、

さて、「**ショロウグモ**」の体長は、雌雄で大きく異なり、雌は20～30mmに対して雄はわずか10mm前後しかありません。

ショロウグモの網を見ると、中央付近に大きな雌がドンと構えており、網の端の方で小さな雄がおどおどしている…（憶測ですが）、しかも雄が複数匹いる網も見られます。

問題は子孫を残すために如何に巨大な雌と交尾するのか、ということです。

あまりの体長差から、下手に近づくと食べられてしまう危険性があるのです。

雌の死角からうまく近づいても、見つかってしまえば“シ・エンド”…

雌は動くものに容赦なく襲いかかる（糸でぐるぐる巻きにする）のですから…

そこで、雄は網の隅っこの方で雌に見つからないように大人しくしながら、ひたすら交尾のチャンスをうかがっているのです。

では、一体いつがその“チャンス”なのでしょう…

それは、雌が脱皮した直後か、或いは食事中なのです。

特に脱皮直後は、まだ足が固まっておらず、自由に動くことができないので、雄にとってはまさに“大チャンス”なのです。

そして、その貴重な瞬間の撮影に成功したのです！！

◆写真①： よく見る光景

◇網の中央に大きな雌が居座り、端で雄が大人しくしているところをよく見かけますが、この写真では二ホンミツバチを捕食する雌を、近くで雄が見ていますね…

◆写真②： ん？ 真ん中の白っぽいのは誰？

◇下にいる雌と上にいる雄の間にいるのは一体誰？？

◇実は、これは雌の脱皮した抜け殻なのです。

◇ということはこの雌、脱皮直後で自由に動けない状態なのです…
このチャンスを雄が見逃すはずがありません。

◆写真③・④： 交尾成功

◇抜け殻の上の方にいた雄が、するすると雌のところまで降りてきて無事に交尾した瞬間をとらえた写真です！

果たしてこのとき、雌がどう思ったのかは全くの謎です…







